

**先**日、気象情報、火山・地震情報、海洋情報等の情報提供を行う会社のお話を伺う機会がありました。天気予報をはじめとする気象情報は、刻一刻と変化する気象状況をアメダス等のセンサーで測定し、逐次インターネット等の回線経由（IoT：Internet of Things）でデータセンタ内のサーバ（クラウド）にデータを収集（ビッグデータ）し、過去のデータや気象予報士（合格率約5%の国家試験合格者）の知見を活用して解析し、現在の気象情報や今後の予測として情報提供されるそうです。昨今の技術の進歩により精度が格段に良くなってきており、1Km四方のメッシュの情報も扱えるとのこと。さらに、過去のデータ解析等には今後人工知能（AI）も使われていくようです。

さて、この処理をよく見てみると、どこかで見たような用語ばかりではありませんか？最近、ICT分野を中心に、トレンドとして世の中で頻繁に露出している用語（技術）を、何年も前から駆使し、また、一般的にテレビのお天気キャスターでしかお目にかかることのない気象予報士の知見。屋外を中心とした作業員の安全確保、通信設備の防災、危険予知、災害復旧等において重要な情報である気象情報は、最先端のICTで提供される。何ともすごい話です。 (I.O)

**ガ**ジェット好きな私としては、昨年お気に入りの活動量計2機種に出会えました。1つは充電ではなくボタン電池を使用することで3~4カ月腕に付けっ放しにできるリストバンド型。もちろん防水は万全で水泳時も装着したまま、何m泳いだかの記録まで取れます。普通の活動量計はほとんどが充電タイプで短いものだと1.5日、長くても1週間に1度は充電のために腕から外さないといけない中、3~4カ月間付けっ放しにできるメリットは大きいと言えます。

もう1つは、あの有名なブランドの腕時計型で、今年バージョンアップして定期券やクレカとしても使えるようになったもの。いずれもまだ1カ月半ほどの装着のため、目下のところ今の使用感がどのくらい持続してくれるかが一番気になるところです。というのも、これまで活動量計は3~4機種くらい試してきましたが、どれも3カ月から半年間ほどで壊れてしまったからです。

皆1万円以上はするガジェットだけに、半年やそこらで使い物にならなくなるのではたまりません。なまじアプリのインターフェースも気に入っているだけに、長く付き合っていきたいと思っている今日この頃です。 (Y.H)

### こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

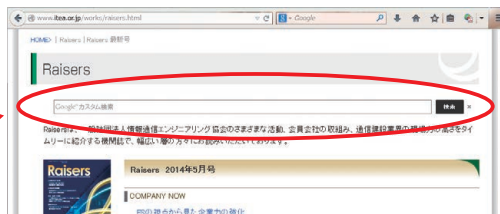
### 「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第65巻第1号(通巻第722号) 平成29年1月5日印刷 平成29年1月10日発行

定価648円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

発行所 一般社団法人電気通信協会 〒163-1455 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー13F

Tel. (03) 5353-0184 Fax (03) 5353-0194

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

